

平成23年8月8日（月）

京都大学見学実習への支援

8月8日（月）、京都大学農学研究科森林・林業政策学の川村准教授及び学生（二回生）6名が、国有林内における釧路湿原の保全と管理の実態並びに周辺における森林資源管理の現状を知るための見学実習を行いました。

当センターでは、根釧西部森林管理署の協力を得て標茶町御卒別国有林で行われている間伐作業地、パイロットフォレスト及び当センターが実施している雷別自然再生事業地の3箇所で見学実習の支援を行いました。

間伐作業地では、実際に作業を行っている業者が使用している「ハーベスタ」や「プロセッサ」などの高性能林業機械による実演と説明をしていただきました。



林業機械の実演

パイロットフォレストでは、造成時の苦勞や現在までの地域への貢献、今後の働きなどの説明を行いました。

雷別自然再生事業地では、釧路湿原上流部で行っている森林再生事業の取組状況を説明しました。

今回参加した学生の皆さんは、林業が社会に貢献した役割や自然再生事業における様々な課題について学んだことと思います。



パイロットフォレストの歴史



森林再生事業地の説明